

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	610-1 大山田農林業公社支援事業	会計	01	一般会計
基本	42 持続的で個性的な農林業を実践する	款	06	農林業費
策		項	01	農業費
		目	04	農業生産対策費
策	2 多様な担い手や営農組織の育成確保	細目	101	生産調整推進対策事業
		細々目	04	農林業公社及び生産組合
基本計画該当頁		159		行革大綱の重点事項番号
		6, 7		
担当部課	コード	703500	評価者	土永瑞穂
	名称	大山田支所産業建設課	氏名	連絡先
				47 - 1157 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	農林業公社 (※対象件数)	担い手への農地集積、農作業の受委託斡旋、営農集団の育成など、運営体制の強化充実を図る。
事業内容	大山田農林業公社の運営助成として次のとおり助成をおこないました。 農地保有合理化事業実施に対する補助(平成20年度実績) ・大山田農林業公社負担金(会費) 4,000,000円 ・同運営助成金 3,600,000円	派遣職員1名の派遣取りやめ(平成19年度)
根拠法令・要綱等	支所関係補助金等交付要綱	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
事業内容	状況変化等	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

進捗状況	年度	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)
委託	事業内容	農林業公社負担金		4,000	農林業公社負担金		4,000	農林業公社負担金		4,000	農林業公社負担金		4,000	農林業公社負担金		4,000	農林業公社負担金		4,000
		農林業公社運営助成金		3,600	農林業公社運営助成金		3,600	農林業公社運営助成金		3,000	農林業公社運営助成金		3,600	農林業公社運営助成金		3,600	農林業公社運営助成金		3,600
進捗率(%)		事業費計(A)	Σ	7,600	事業費計(A)	Σ	7,600	事業費計(A)	Σ	7,000	事業費計(A)	Σ	7,600	事業費計(A)	Σ	7,600	事業費計(A)	Σ	7,600
事業投入人員		人件費(B)	0.1	人 612	人件費(B)	0.1	人 612	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440
フルコスト(A)+(B)				8,212			8,212			8,440			9,040			9,040			9,040

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	7,600	7,600	7,000	7,600	7,600
Aの財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
受益者負担					
その他					
一般財源	7,600	7,600	7,000	7,600	7,600
計	7,600	7,600	7,000	7,600	7,600
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
農地保有合理化事業	ha	目標 120 実績 110	目標 112 実績 112	114	114
		目標 — 実績	目標 実績		
		目標 — 実績	目標 実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
農地流動化率	分母 大山田地域耕作面積 分子 農地流動化面積	%	目標 17 実績 14	目標 17 実績 14	17	17
特産品販売高	伊賀市内の特産品販売所(青空ネット、道の駅、日帰り温泉施設等)における売上高	千円	目標 14,000 実績 14,796	目標 15,000 実績 17,330	18,000	19,000

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	農業者が高齢化し後継者の不在が危惧される中で、地域として農地を守ることがますます重要になっている。集落内や地域での耕作者が不在で、個人レベルで委託先を探す事が困難な場合に農林業公社のネットワークを利用してより広範囲の担い手に斡旋することが出来る。また、最終的に引き受け手がいない場合には(有)大山田ファームが受託するため、利用者は安心して委託することが出来る。公社の公益性については公益認定法第2条別表の17に該当している。
有効性	3	農地維持のための最後のセーフティネットとして有効である。
達成度	4	農地の荒廃を防止できた。
効率性	4	農地保有合理化事業、農作業受託組織[(有)大山田ファーム]、加工品開発事業の連携を図ることで効率性を確保する。また農地の出し手については、農業委員会設定の標準小作料を下回る小作料の設定により事実上の負担が生じている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	拡大	菜の花プロジェクト、白菜の新品種(伊賀紫)育種研究及び商品化などの新規事業の取り入れ。